

令和5年度 後援会 理事会・代表委員会を開催

令和5年度 日本文理大学後援会 理事会・代表委員会が4年振りとなる対面方式で実施されました。

村山 一三会長より、「コロナ禍により、対面での対面開催となり、久しぶりにお会いできたことをありがたく思っている。在学生のため実のある会としていきたい。引き続き後援会活動にご協力をお願いしたい。」

また、菅 貞淑 学校法人文理学園理事長・後援会副会長より、「皆様方とお会いできたことを感謝申し上げます。今年は、保健医療学部を新たに開設し、既存の工学部、経営経済学部との横断的な教育内容で、医療現場、医療機器開発企業等への期待に応えていく。」と挨拶が行われ、3学部体制となり新たな体制での教育・研究活動が開始されたことが紹介されました。

会議では、保健医療学部（2名）を含む新理事の紹介、令和4年度決算報告、令和5年度予算報告等について審議され、承認されました。今年度は、個人面談会の対面による地方会場の開催や教育・設備、サークル・研究活動への支援等、ここ数年制限せざるを得なかった諸活動が再開されることを見込まれ、後援会、保護者の皆様のご支援、ご協力を仰ぐことが多々予想されます。後援会活動へのご理解と保護者の皆様の力強いご支援・ご協力をお願い致します。



↑会議冒頭、4年振りとなる対面方式での開催に際し、村山 後援会会長（左）、菅 後援会副会長（右）より挨拶が行われた。（写真左）

↑3学部体制となり、諸活動も平常に戻りつつある中での支援項目、内容について審議が行われました。（写真右）



令和5年度 日本文理大学 後援会理事、代表委員の皆様